

訪問支援までの流れ

特別支援学校コーディネーターや外部専門家の訪問支援を要請するまでの流れを示しました。以下の流れを参考にし、支援が必要なお子さんについて、適切な支援が継続できるよう体制作りをしていきましょう。

支援が必要な子どもへの気づき

園内・校内支援会議
研修会の計画・立案

支援が必要なお子さんについて、その実態や現状を全職員で共通理解しましょう。
また、過去の支援データを参考にするなど情報収集、実態把握をしましょう。
目標設定の再検討、必要な支援の検討をしましょう。

支援の実践

園内・校内支援会議
センター的機能の活用検討

実践の検証をし、支援の継続、外部の関係機関による助言等の連携が必要か検討しましょう。助言または研修の支援が必要と判断された場合、特別支援学校へ連絡しましょう。
(助言が必要な場合は保護者の同意を得る)

支援の継続

特別支援学校
(特別支援教育コーディネーター)

支援方法の検討

他校、他機関の紹介

訪問日時調整

相談内容によっては、適切な助言が得られるよう、他校や他機関を紹介します。

派遣依頼文書、支援記録票を作成し、訪問日1週間前までに送付してください。

訪問支援の実施

活動の様子を観察し、先生方へ支援方法などについてアドバイスします。
先生方を対象にした研修支援を行うこともできます。

小中学校・園等は、訪問支援の実施状況について市町村教育委員会に報告します。

支援が必要なお子さんへの支援方法などについて、知識や技術が蓄積され、各園・学校が主体的に課題解決ができるよう、お手伝いさせていただきます。不明な点などがありましたらご連絡ください。